

いじめの問題に関する児童生徒の実態把握に係る調査の概要と考察

滝川市教育委員会教育総務課

①調査の趣旨

いじめの実態や児童生徒のいじめに対する考え方等を把握し、今後のいじめの未然防止、早期発見、早期対応等の指導に役立てる。

②調査方法

- ・道教委調査「いじめの把握のためのアンケート調査」に基づく実態調査
- ・保護者宛の文書を同封して家庭に持ち帰って記入
- ・氏名の任意記入欄を設定
- ・回収と開封及び集計を各学校で実施

③実施月・参加対象

令和6年11月 市内小・中・高等学校児童生徒 ※高等学校分については別途整理集計

④回収結果

	令和6年11月					令和5年6月	令和5年度		令和4年度	
	在籍者数	回収者数	氏名記入者数	回収率	氏名記入率	回収率	11月回収率	6月回収率	11月回収率	6月回収率
全小学校	1488人	1473人	1469人	99.0%	99.7%	98.5%	99.0%	99.3%	98.7%	98.1%
全中学校	846人	797人	797人	94.2%	100.0%	95.9%	94.2%	95.8%	89.5%	93.3%
合計	2334人	2270人	2266人	97.3%	100.0%	97.5%	97.3%	98.0%	95.5%	96.4%

⑤アンケート結果による分析

「Q. あなたは、今年の4月から今まで、嫌な思いをしたことがありますか。」と回答した児童に対するいじめ認知割合							いじめに関する月別通報・相談(連絡)・発見件数													
R3	第1回アンケート6月			第2回アンケート11月			R3	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	嫌な思いをしたことがある	6月いじめ認知数	割合	嫌な思いをしたことがある	11月いじめ認知数	割合		小学校合計	中学校合計	小・中合計										
小学校合計	262	14	5.3%	346	12	3.5%	0	0	14	1	1	1	2	12	2	0	0	3	36	
中学校合計	28	15	53.6%	28	9	32.1%	0	0	15	1	0	0	0	9	0	0	0	0	25	
小・中合計	290	29	10.0%	374	21	5.6%	0	0	29	2	1	1	2	21	2	0	0	3	61	
							いじめ認知件数 61													
R4	第1回アンケート6月			第2回アンケート11月			R4	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	嫌な思いをしたことがある	6月いじめ認知数	割合	嫌な思いをしたことがある	11月いじめ認知数	割合		小学校合計	中学校合計	小・中合計										
小学校合計	276	85	30.8%	325	61	18.8%	1	1	85	0	1	2	0	61	1	2	2	0	156	
中学校合計	26	7	26.9%	29	0	0.0%	0	0	7	0	1	1	1	0	0	0	0	0	10	
小・中合計	302	92	30.5%	354	61	17.2%	1	1	92	0	2	3	1	61	1	2	2	0	166	
							いじめ認知件数 166													
R5	第1回アンケート6月			第2回アンケート11月			R5	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	嫌な思いをしたことがある	6月いじめ認知数	割合	嫌な思いをしたことがある	11月いじめ認知数	割合		小学校合計	中学校合計	小・中合計										
小学校合計	266	160	60.2%	290	249	85.9%	1	1	160	3	0	1	1	249	0	0	0	1	417	
中学校合計	31	24	77.4%	52	36	69.2%	0	0	24	2	0	4	3	36	0	0	0	1	70	
小・中合計	297	184	62.0%	342	285	83.3%	1	1	184	5	0	5	4	285	0	0	0	2	487	
							いじめ認知件数 487													
R6	第1回アンケート6月			第2回アンケート11月			R6	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	嫌な思いをしたことがある	6月いじめ認知数	割合	嫌な思いをしたことがある	11月いじめ認知数	割合		小学校合計	中学校合計	小・中合計										
小学校合計	276	235	85.1%	301	317	105.3%	0	0	235	0	0	2	0	317	0				554	
中学校合計	29	33	113.8%	41	37	90.2%	1	0	33	0	2	2	0	37	0				75	
小・中合計	305	268	87.9%	342	354	103.5%	1	0	268	0	2	4	0	354	0				629	
							いじめ認知件数 629													

【考察】

「今年の4月から今まで、嫌な思いをしたことがある」と回答した児童生徒の人数は、昨年11月時点と小・中合計では同人数だが、小学校では増加しており、中学校では減少している。各学校では、「4月から今まで嫌な思いをしたことがある」と回答した児童生徒を中心に個々の実態を把握・精査した結果、アンケートを行った11月の認知事案は354件となっており、「嫌な思いをしている」人数に対して、認知した割合としては、これまでで最も高い割合となっている。また、令和3年度と比べると、11月のいじめの認知件数が21件から354件と約17倍に増えており、認知の割合も5.6%から103.5%に増えている(100%を超えているのは、「本人の訴え」はなかったが、「友人が嫌な思いをしているのを見たり、聞いたりした」等により発覚したいじめがあるため)。各学校において、いじめ対策組織を活用し、積極的に認知に努めた結果と捉えている。今後も、いじめの定義を法律に基づいて解釈し、「いじめ見逃しゼロ」となるよういじめの正確な認知に向けた取り組みの一層の充実が求められる。

いじめの態様については、小学校、中学校ともに「冷やかしかからかい、悪口を言われる」の割合が最も高くなっていった。それに続く態様として、小学校1・2年生では「仲間はずれや無視をされる」、小学校3～6年生と中学校では「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたかれたりする」の割合が高くなっていった。また、「メールや無料通話アプリ(SNS等)で悪口を書かれたり、仲間はずれにされたりする」というインターネット上のものも割合は高くはないが、小・中学校合わせて9件あった。

ここ数年の調査において、「冷やかしかからかい、悪口を言われる」の割合が最も高く、依然として「言葉による暴力」は減っていない。この状況は、態度及び身体的な暴力に比べて、加害者意識が弱く、暴力と感じない児童生徒がいることが原因として考えられる。しかしながら、態度及び身体的な暴力と同じように相手の心に大きな傷を与えるものであることから、普段から児童生徒が発する言葉に注意し、適切ではない言葉を使った場合には、個別で、または学級全体で言葉の使い方を振り返り、考えさせる指導が求められる。併せて、教職員も、言語環境を整えるといった観点から、児童生徒に対する言葉の使い方に十分注意する必要がある。また、今後増加が懸念されるSNSによるインターネット上のいじめの未然防止に向けて、情報モラル教育やネットパトロールの充実が求められる。

Q. あなたは、今も嫌な思いをしていますか。(学年ごとの経年変化)

	令和6年11月		令和6年6月		令和5年11月		令和5年6月		令和4年11月		令和4年6月		令和3年11月	
	している	率	している	率	している	率	している	率	している	率	している	率	している	率
小1年生	33人	14.4%	27人	11.7%	35人	15.4%	26人	11.4%	34人	14.7%	26人	11.6%	44人	18.3%
小2年生	41人	18.3%	33人	14.6%	40人	17.5%	26人	11.6%	31人	13.0%	24人	10.1%	32人	12.4%
小3年生	22人	9.5%	27人	11.9%	21人	9.0%	19人	8.2%	32人	12.3%	39人	15.3%	33人	12.7%
小4年生	22人	9.7%	12人	5.5%	24人	9.3%	28人	10.9%	24人	9.8%	26人	10.4%	27人	9.1%
小5年生	30人	12.1%	19人	7.5%	26人	10.7%	25人	10.3%	20人	6.8%	16人	5.4%	20人	6.9%
小6年生	13人	5.5%	12人	5.1%	10人	3.4%	12人	4.2%	10人	3.5%	16人	5.5%	11人	3.8%
中1年生	5人	1.8%	6人	2.2%	18人	6.3%	4人	1.5%	5人	1.9%	3人	1.1%	4人	1.5%
中2年生	8人	3.0%	9人	3.6%	3人	1.0%	6人	2.4%	3人	1.2%	8人	3.1%	3人	1.1%
中3年生	4人	1.5%	2人	0.7%	3人	1.1%	3人	1.3%	0人	0.0%	1人	0.4%	3人	1.0%
計	178人	7.8%	147人	6.6%	180人	7.7%	149人	6.5%	159人	6.8%	159人	6.7%	177人	7.2%

Q. あなたは、今も嫌な思いをしていますか。(母集団での変化)

	令和6年11月		令和6年6月		令和5年11月		令和5年6月		令和4年11月		令和4年6月		令和3年11月	
	している	率	している	率	している	率	している	率	している	率	している	率	している	率
現小1年生	33人	14.4%	27人	11.7%										
現小2年生	41人	18.3%	33人	14.6%	35人	15.4%	26人	11.4%						
現小3年生	22人	9.5%	27人	11.9%	40人	17.5%	26人	11.6%	34人	14.7%	26人	11.6%		
現小4年生	22人	9.7%	12人	5.5%	21人	9.0%	19人	8.2%	31人	13.0%	24人	10.1%	44人	18.3%
現小5年生	30人	12.1%	19人	7.5%	24人	9.3%	28人	10.9%	32人	12.3%	39人	15.3%	32人	12.4%
現小6年生	13人	5.5%	12人	5.1%	26人	10.7%	25人	10.3%	24人	9.8%	26人	10.4%	33人	12.7%
現中1年生	5人	1.8%	6人	2.2%	10人	3.4%	12人	4.2%	20人	6.8%	16人	5.4%	27人	9.1%
現中2年生	8人	3.0%	9人	3.6%	18人	6.3%	4人	1.5%	10人	3.5%	16人	5.5%	20人	6.9%
現中3年生	4人	1.5%	2人	0.7%	3人	1.0%	6人	2.4%	5人	1.9%	3人	1.1%	11人	3.8%

【考察】

学年ごとの経年変化で見ると、昨年11月時点よりも「今も嫌な思いをしている」と回答した児童生徒の割合は、一部の学年では減少が見られるものの、全体としては若干増加している。母集団の変化では、現小学2・4・5年生と現中学2・3年生は、昨年11月時点よりも増加が見られる。特に、現小学5年生は、他学年の同時期と比べると高い割合で推移しており、注意が必要な学年であると考えられる。全体としては、どの学年でも増えたり、減ったりがあるものの、学年が上がるに連れて減少する傾向が見られる。

Q. あなたは、今年の4月から今日まで、友人が嫌な思いをしているのを見たり、聞いたりしたことがありますか。(学年ごとの経年変化)

	令和6年11月		令和6年6月		令和5年11月		令和5年6月		令和4年11月		令和4年6月		令和3年11月	
	ある	率	ある	率	ある	率	ある	率	ある	率	ある	率	ある	率
小1年生	74人	32.3%	63人	27.3%	74人	32.5%	56人	24.0%	75人	32.5%	65人	29.0%	115人	47.7%
小2年生	68人	30.4%	55人	24.3%	82人	36.0%	70人	31.1%	74人	31.1%	58人	24.4%	74人	28.6%
小3年生	70人	30.3%	59人	26.1%	43人	18.5%	40人	17.2%	75人	28.8%	60人	23.5%	62人	23.9%
小4年生	43人	18.9%	34人	15.5%	54人	20.8%	72人	27.9%	34人	13.9%	39人	15.5%	62人	20.9%
小5年生	57人	23.0%	41人	13.6%	53人	21.9%	41人	16.9%	47人	16.0%	34人	11.5%	44人	15.2%
小6年生	40人	16.8%	35人	14.9%	30人	10.2%	37人	12.9%	37人	12.8%	37人	12.8%	27人	9.3%
中1年生	24人	8.7%	21人	7.4%	48人	16.8%	20人	7.1%	44人	16.5%	21人	7.6%	47人	18.0%
中2年生	38人	14.4%	41人	15.3%	22人	7.7%	19人	7.0%	21人	8.3%	22人	8.4%	8人	3.0%
中3年生	19人	7.1%	10人	3.6%	21人	7.7%	21人	8.1%	6人	2.3%	1人	0.4%	12人	4.0%
計	433人	19.1%	359人	16.2%	427人	18.3%	376人	16.4%	413人	17.7%	337人	14.3%	451人	18.3%

Q. あなたは、今年の4月から今日まで、友人が嫌な思いをしているのを見たり、聞いたりしたことがありますか。(母集団での変化)

	令和6年11月		令和6年6月		令和5年11月		令和5年6月		令和4年11月		令和4年6月		令和3年11月	
	ある	率	ある	率	ある	率	ある	率	ある	率	ある	率	ある	率
現小1年生	74人	32.3%	63人	27.3%										
現小2年生	68人	30.4%	55人	24.3%	74人	32.5%	56人	24.0%						
現小3年生	70人	30.3%	59人	26.1%	82人	36.0%	70人	31.1%	75人	32.5%	65人	29.0%		
現小4年生	43人	18.9%	34人	15.5%	43人	18.5%	40人	17.2%	74人	31.1%	58人	24.4%	115人	47.7%
現小5年生	57人	23.0%	41人	13.6%	54人	20.8%	72人	27.9%	75人	28.8%	60人	23.5%	74人	28.6%
現小6年生	40人	16.8%	35人	14.9%	53人	21.9%	41人	16.9%	34人	13.9%	39人	15.5%	62人	23.9%
現中1年生	24人	8.7%	21人	7.4%	30人	10.2%	37人	12.9%	47人	16.0%	34人	11.5%	62人	20.9%
現中2年生	38人	14.4%	41人	15.3%	48人	16.8%	20人	7.1%	37人	12.8%	37人	12.8%	44人	15.2%
現中3年生	19人	7.1%	10人	3.6%	22人	7.7%	19人	7.0%	44人	16.5%	21人	7.6%	27人	9.3%

【考察】

学年ごとの経年変化で見ると、昨年11月時点の調査と比べると「友人が嫌な思いをしているのを見たり、聞いたりしたことがある」と回答した児童生徒の割合が全体としては増加している。母集団で見ると、昨年度6月時点と比べると、多くの学年において減少しているものの、現小学4・5年生は増加が見られる。現中学2年生は昨年11月時点の調査と比べると減少しているものの、他学年の同時期と比べると高い割合で推移しており、特に注意が必要な学年であると考えられる。

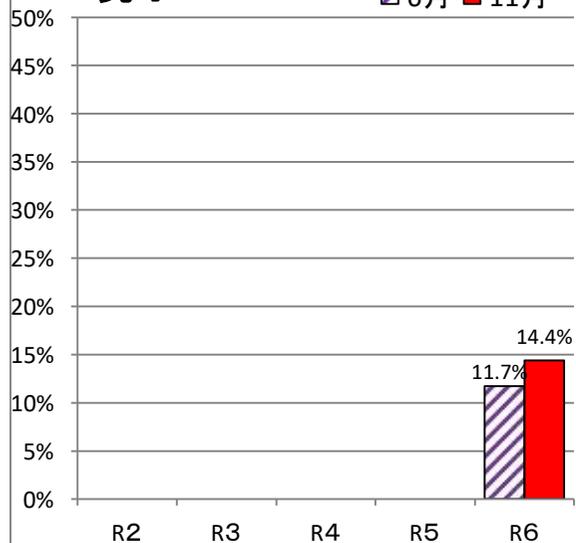
今後も、各学校において、児童生徒が嫌な思いをしているのを見たり、聞いたりしたときには、それを傍観者として見過ごしてしまうのではなく、加害者を止める勇気、教職員へ報告する勇気等、いじめを防止するために必要な強い心を日常的に育てていくことが必要である。

また、アンケート調査だけでなく、教職員に悩みや不安を相談できる体制を整備し、日頃から児童生徒との触れ合いや信頼関係の構築に努めることももちろんのこと、子ども同士のコミュニケーションスキルを測定し改善を図るツール「ほっと」等を活用したり、道徳科を要として教育活動全体で行う道徳教育の取り組みを促進させたりするなど、いじめの早期発見、早期対応につながる取り組みの充実が求められる。

今も嫌な思いをしている（母集団での変化）

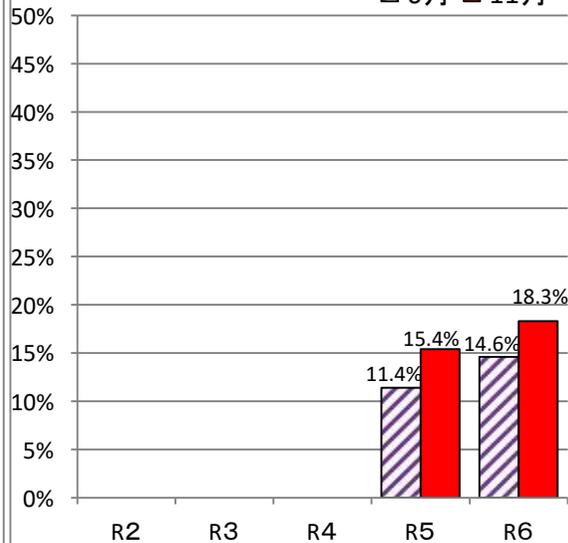
現小1

6月 11月



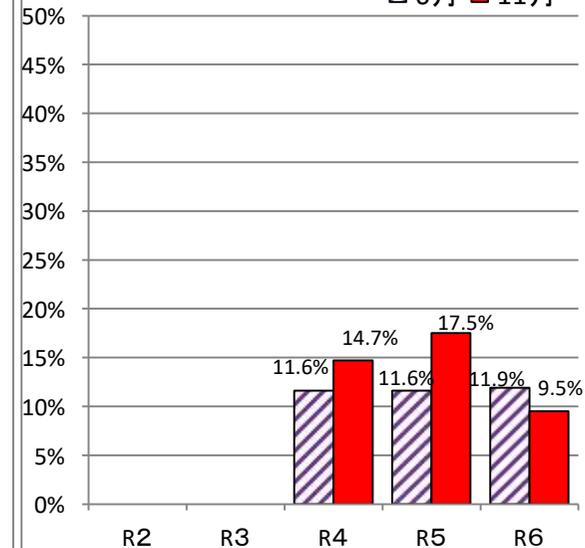
現小2

6月 11月



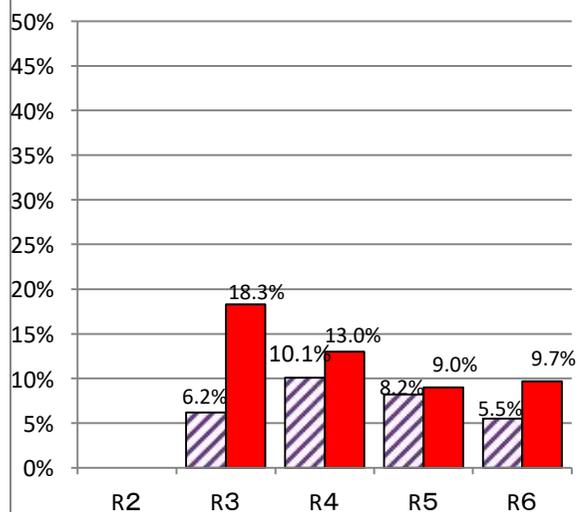
現小3

6月 11月



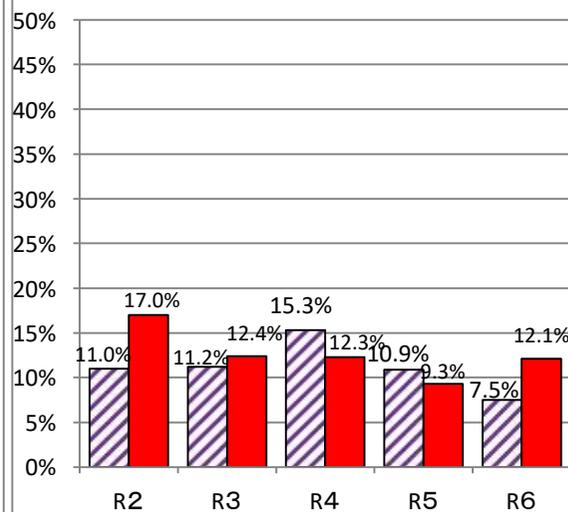
現小4

6月 11月



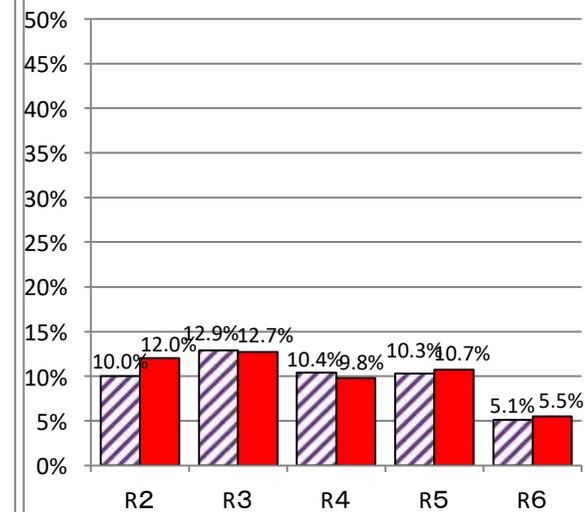
現小5

6月 11月



現小6

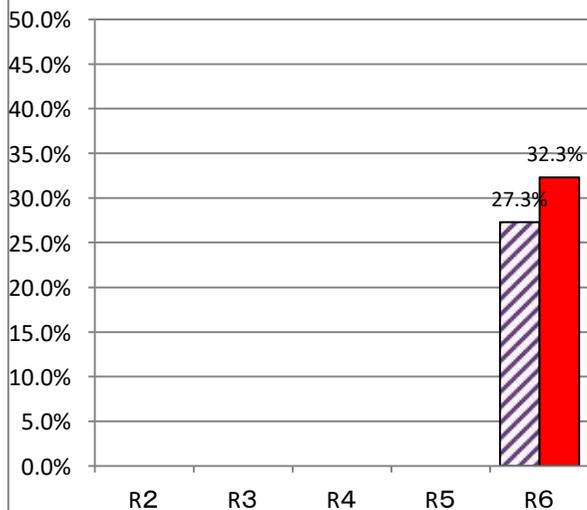
6月 11月



嫌な思いをしているのを見たり聞いたりしたことがある（母集団での変化）

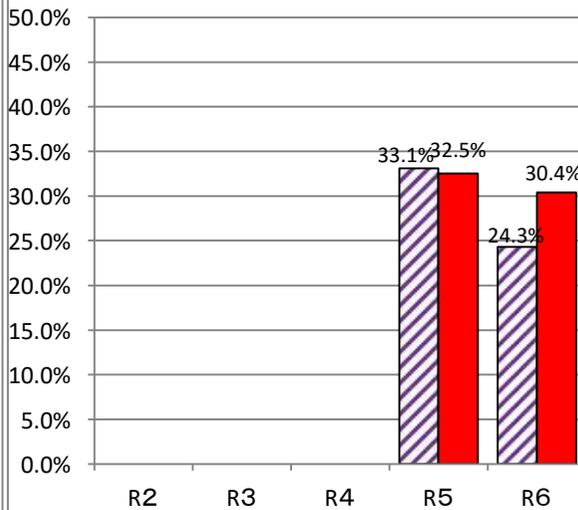
現小1

6月 11月



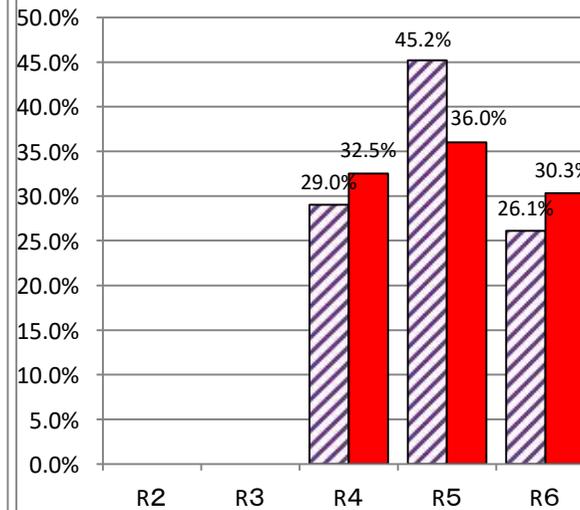
現小2

6月 11月



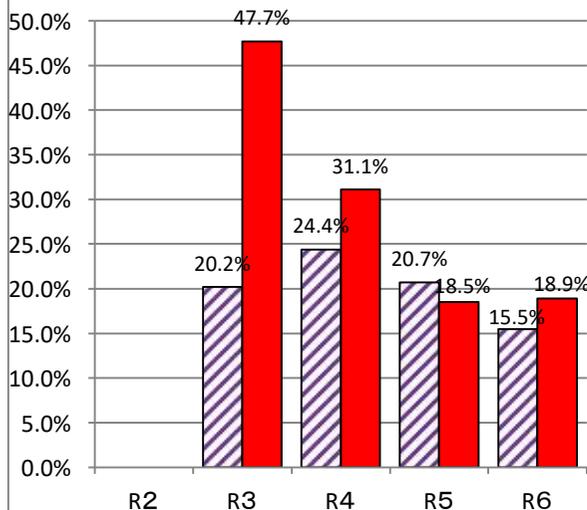
現小3

6月 11月



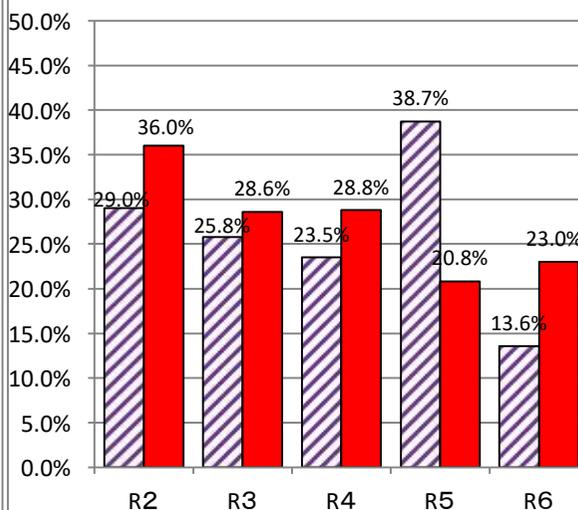
現小4

6月 11月



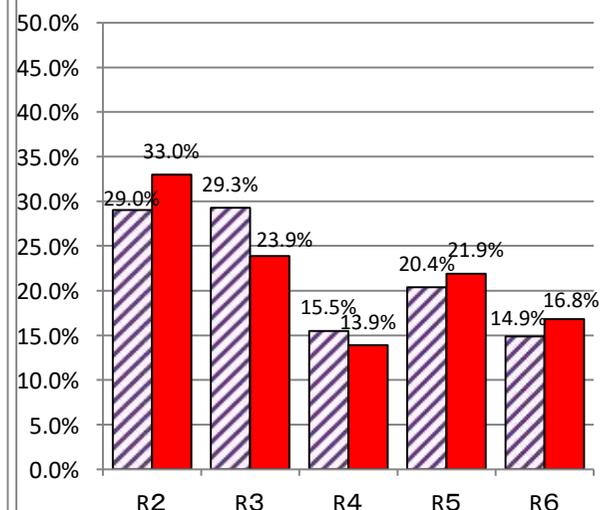
現小5

6月 11月

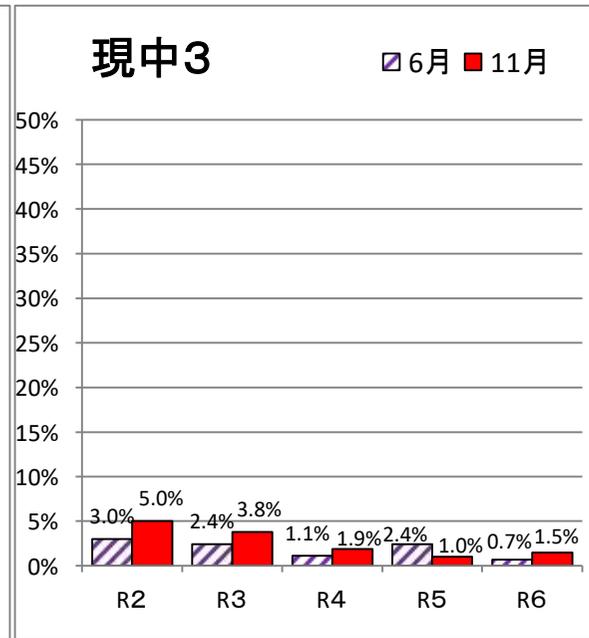
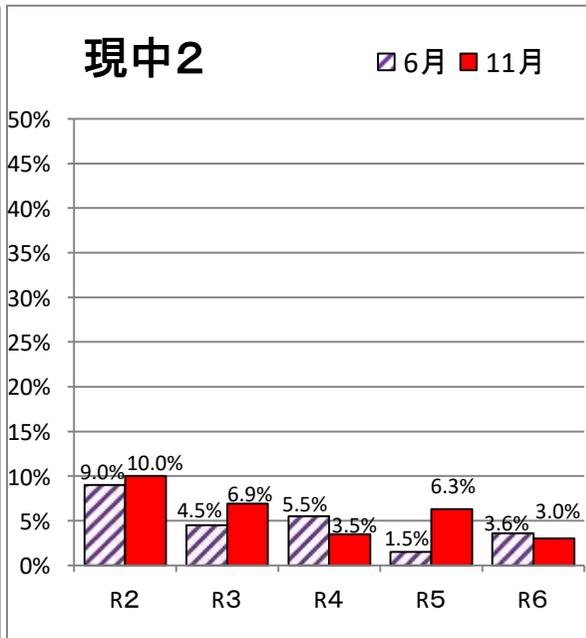
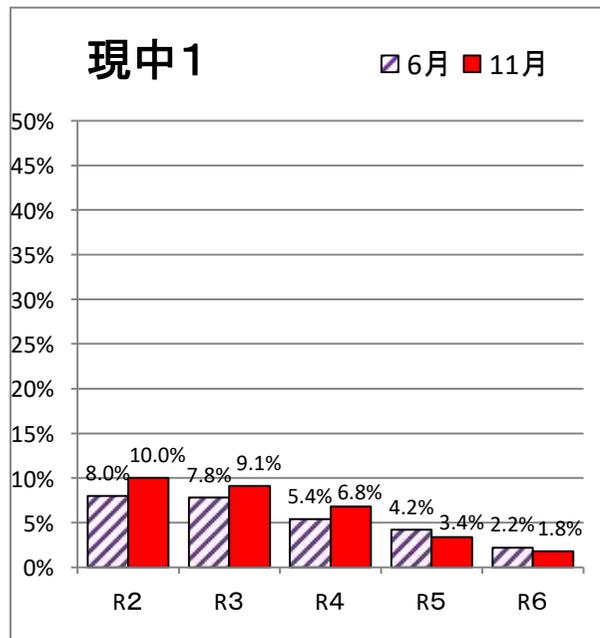


現小6

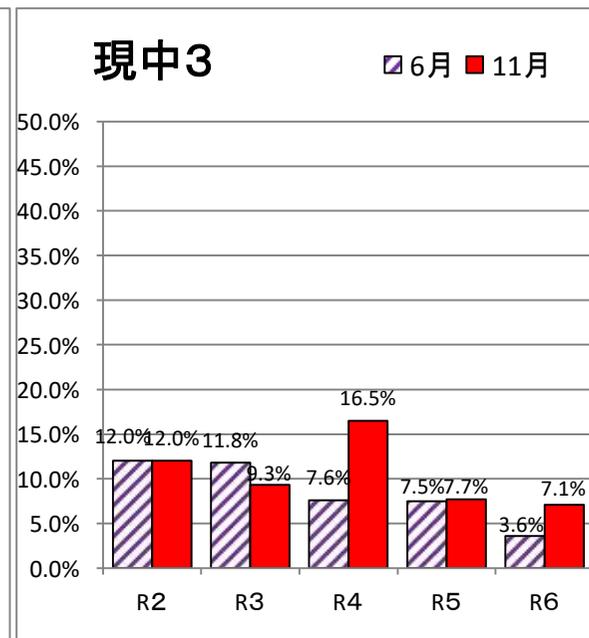
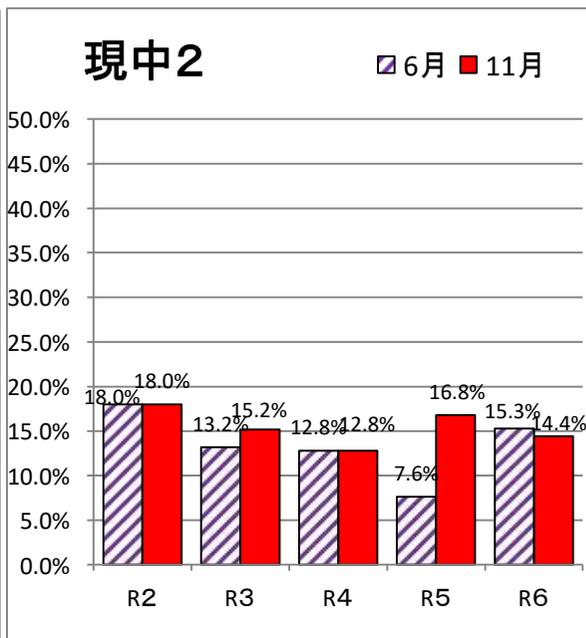
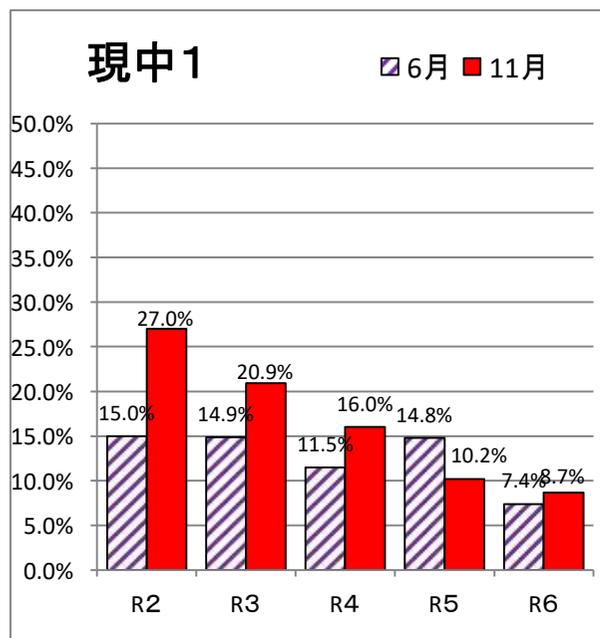
6月 11月



今も嫌な思いをしている(母集団での変化)



嫌な思いをしているのを見たり聞いたりした(母集団での変化)



区分		いじめはどんな理由があっても許されないことだと思う		
校種		小学校1～2年生	小学校3～6年生	中学校
R2	R2 7月	87%	94%	90%
	11月	90%	96%	90%
R3	R3 6月	92%	94%	92%
	11月	91%	95%	93%
R4	R4 6月	92%	95%	92%
	11月	93%	95%	93%
R5	R5 6月	92%	96%	92%
	11月	93%	94%	93%
R6	R6 6月	91%	96%	92%
	11月	95%	97%	92%

いじめはどんな理由があっても許されないことだと思う

